

# 母子草

発行所  
水戸市八幡町11-52  
ラク・ハイツ内  
社会福祉法人  
茨城県母子寡婦福祉連合会  
029 (221) 7505  
編集発行者  
境 洋子

**第528号**



県母連は共同基金会の受配団体です。

## 令和4年度 理事会の開催

去る5月30日に県母連第1回理事会が、県青少年家庭課助川主査のご来賓の下に、ラク・ハイツ会議室において開催されました。

議事に先立ち、境会長から、昨年度コロナ禍においても、介護などの自立支援講座を無事に開催することができたことや、親子すこやか事業もクリスマス会をプレゼント配布などにして事業を行えたことに感謝の気持ちを述べられま

した。  
理事会での議事は令和3年度の事業報告と収支決算報告の後、監事から監査報告があり可決されました。また、役員を選定について審議を行い原案通り可決されました。そのほか3年ぶりとなる茨城県母子寡婦福祉大会の開催の承認、報告事項として新入学児童祝い品の配布結果などの報告がありました。

### 令和4年度会員参加（主要）行事

日 程	行 事 名	場 所	事業内容・参加者等
8月26日(金)	第72回茨城県母子寡婦福祉大会	ザ・ヒロサワ・シティ会館 (県民文化センター)	会員が一堂に会し、功労者の表彰、要望事項の決定及び宣言を行います。
10月8日(土)～9日(日)	親子すこやか宿泊研修	水戸市少年自然の家	親子でお泊り、野外でのカレーライス作り、創作活動、ゲームなど。楽しい企画を準備しています。
10月23日(日) 11月6日(日)	若年母子家庭セミナー	未定	県内2ブロックで生活に役立つ知識の習得などの研修会を開催します。
年度内	親子すこやか日帰り研修	—	各地区母子会が親子で楽しめる行事を企画・実施します。
年度内	母子家庭等指導講座	—	各地区母子会主催で、技術習得やためになる情報の講座を開催します。

## 第72回 茨城県母子寡婦福祉大会

<b>日・時</b>	令和4年8月26日(金) 午前10時30分～
<b>会 場</b>	ザ・ヒロサワ・シティ会館 (茨城県立県民文化センター) 大ホール
<b>主 催</b>	社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会
<b>共 催</b>	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
<b>後 援</b>	茨 城 県

**参加者** 県内母子家庭及び寡婦  
母子及び寡婦福祉関係団体関係者  
母子及び寡婦福祉  
行政等関係職員

## 県央・鹿行ブロックだより

### 工夫しながらの活動



水戸市母子寡婦福祉連絡会

会長 大 山 瞳

令和3年12月5日(日)水戸市福祉ボランティア会館にて、クリスマス会を開催しました。長引くマスク生活の中、少しでも楽しい雰囲気になるようにサンタクロースの帽子を被り、オムライス弁当とケーキ、プレゼント(図書カード)を配布しました。開催時間は1時間と短いながらも、マスク越しに参加者の笑顔が伝わってきました。

現在、水戸市母子寡婦福祉会は母子23名、寡婦1名で活動しています。令和2年度から始めたフードバンクは第5土曜日に実施しており、毎回好評です。いただいたパンは具材を挟んだり、フレンチトーストにしたり、アレンジを楽しみながら活用しています。この事業を通じて、母子会への新規加入者も増えており、会員増強に繋がっていると感じています。

令和4年4月30日(土)には、3年ぶりに集会形式の総会を開催しました。コロナ禍でコミュニケーション不足を感じていたため、総会前に自己紹介の時間を設けました。お互いに距離を取りながらも親睦を深め

ることができました。

私は子どもが小学校2年生の時に母子会に入会しました。現在、子どもは中学2年生になりましたが、これまでの間、母子会の行事を通じて、出会いと助け合いの縁ができました。人の温かさや繋がりを感じることも多く、行事に参加する際は会員相互の子どもの成長も楽しみの一つです。

いろいろなことが制限されている今の世の中、以前と同じような行事ができなくても、安心・安全を第一に今できることを工夫して活動していきたいと思えます。



### 城里町母子寡婦福祉会 活動状況について



城里町母子寡婦福祉会

会長 森 谷 真智子

コロナ禍により活動の自粛が続き、生活様式の変化により心身共に不安定な日々が続いておりますが、一日も早い終息を願っています。

さて、本会では4月に新しく小学校に入学する児童を対象に、お祝い品の贈呈式を予定していましたが、対象となる方の都合がつかず、今年度は贈呈式の実施ができませんでしたが、個別に対応し、茨城県母子寡婦福祉連合会からの祝い品とは別に、黄色い傘や地域の方よりいただいた野菜の他、母子部への加入促進を進める為、フードバンクからの品と一緒に渡す事ができました。本会のPRや入会への興味を持っていただける機会となり、とても貴重な時間となりました。

また、寡婦の研修なども数年できていませんでしたが、4月18日に令和4年度定期総会を開催し、総会終了後に日帰り研修を行うことができました。

総会は寡婦だけの参加になりましたが、今後は母子の参加もあればと願います。

研修会へは寡婦の会員12名の参加があり、皆さんが安心して参加できるよう検温や体調の確認、手指消毒などに気をつけて、実施しました。

行く先は栃木県益子観光いちご団地で、いちご狩りをしました。帰りに益子の道の駅で食事と買い物をして無事帰ってきました。コロナはまだまだ予断を許しません、コロナ禍となった今、人との繋がりの大切さを痛感しています。

今後の活動においても、私たちができる事、継続すべき事は何かを課題とし、会員の皆さんや社会福祉協議会と連携を取って実施できたらと思います。

8月には、親子すこやか交流事業の活動を予定しております。昨年実施できなかった『ピザ焼き体験』を実施する予定です。日々忙しく働いている母子の方も楽しんでください。乱筆乱文にて失礼します。

ありがとうございました。



## ひたちなか市母子寡婦福祉会の 活動報告～クリスマス会～

ひたちなか市母子寡婦福祉会

会長 安 島 令 子

コロナ禍のため、令和2年の活動は、多くが中止となり、クリスマス会はケーキ、お菓子の配布のみでした。令和3年4月からフードバンクを再開し、徐々に活気が戻り始めました。10月から感染対策をした上での集会が認められたので、早速、計画を立案し、クリスマス会に向けた準備にとりかかりました。例年、参加世帯は10世帯前後だったので気楽に考えていました。募集要項を市広報に掲載したところ、18世帯の申込みがあり、急ぎよ予定を変更し、計画を練り直しました。「バルーンアートを楽しもう」という内容で実施、毎回お世話になっているバルーンアートにじいさんをお願いしました。快く引受けてくださり、その上、子どもには、当日と違うバルーンをお土産に用意してくれました。欠席が一世帯ありましたが、指導者・協力員合せて8名の方が指導にあたり、無事作品を完成させました。施設内では飲食禁止のため、ケーキ、飲み物、お菓子、お弁当、フードバンク水戸からのいただき物などお土産がいっぱい。参加者全員お喜びで帰って行かれました。

今回の事業では、反省点が多くあり次回につなげていきたいと思っています。募集世帯数、参加年齢など、当母子会の不手際があったにも関わらず無事盛況に終了したことに安堵を覚えています。



## 若年母子家庭セミナーに参加して

那珂市母子寡婦福祉会

「何か悩みがありますか？」

この問いに関して多くの人の答えはYESだと思えます。しかし「頼れる相談相手はいますか？」この問いに関してYESと答えられる方は少ないのではないのでしょうか。

私自身、コロナ禍における面会交流の方法（対面かオンラインか）や頻度について元夫と意見が合わずに悩んでおりました。そんな中、弁護士の先生が「養育費と面会交流」についてお話しされるという事で「令和3年度若年母子家庭セミナー」に参加してまいりました。

弁護士の先生は二児の母で、話す口調も柔らかく親しみやすい印象を受けました。また、「養育費とは何か、面会交流とは何か」、その注意するポイントや問題点などを分かりやすく説明してくださいました。

以下に、特に役立つのではないかとと思う知識（情報）を挙げます。

① 月決めの養育費は一度不払いがあれば一度の手続き（強制執行）で、まだ支払い期日の来ていな

い将来の養育費についても給与差押さえができる（但し金融機関が分かっている場合）。

② 母親に万が一の事があった場合の未成年後見人は、遺言で指定しておくことができる。

③ 法テラスを利用しての法律相談は、一つの案件につき3回まで無料である（但し収入による）。

このうち③は多くの人にとって有用な情報だと思います。

私は、セミナーの際も女性弁護士からアドバイスをいただきましたし、その後も実際に法テラスを利用して、この先生の元に時折相談に訪れています。専門職ならではの豊富な知識と女性ならではの細やかな気配りがあり、相談相手としてとても心強く感じています。

トラブルは誰にとっても他人事ではないと思います。巻込まれて渦中の人となった時、一人で悩まずに専門家のドアを早めに叩く、専門家でなくとも気軽に相談できる人をたくさん作っておくという事は、とても大切な事だと思います。

若年母子家庭セミナーへの参加、ひいては母子寡婦間の繋がりでお互いの「頼れる相談相手」が一人でも増える事を願ってやみません。



## コロナ禍における活動

小美玉市母子寡婦福祉会

副会長 原 田 絃 子

中々コロナが収束しない中で、活動するのは、大変苦労をします。かといって、何もしないのも、会員同志の親睦を図る事と、家にこもるのを防げません。会員からも、何か催事をして欲しいとの声、届いてきます。そこで、コロナ対策を守って、11月には日帰り研修を行いました。行先は、北茨城市漁業資料館「ようそろ〜」の見学です。東日本大震災の爪跡もありありと残されていました。昼食は、そこの市場で海鮮丼に舌つづみを打ちました。また、東海村の社会福祉協

議会の方々と交流し、活動の様子を伺いました。いろいろ多種に渡り動いていて驚きました。会員相互の楽しみも行っていきます。「ハーバリウム」作りです。百円均一の材料を揃え、安価で素敵な飾り物ができました。健康面では、「シルバーリハビリ体操」「タオル体操」「脳トレ」も行います。みんな一生懸命頑張ります。他にボランティア活動も行って、会員は高齢になってきていますが、市の為に頑張っています。若い人は、中々入会してくれませんが、これからも頑張っていくつもりです。

最後になってしまいました。会長が米川よしのさんより今村笙子さんにバトンタッチして、新スタートを切ります。

どうぞよろしく願いいたします。

皆様どうぞ、お身体御自愛くださいませ。

## 視察研修会を実施しました

東海村母子寡婦福祉会

会長 境 洋 子

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に明け暮れた一年間でしたので、ほとんどの事業は残念ながら中止となってしまいました。

そのような中、感染拡大防止に工夫を凝らし、視察研修会を開催しました。去る11月18日会員8名で、常陸太田市の「社会福祉法人 誉田養徳園」を視察研修してきました。

会長の私より本日の研修を快く引き受けてくださったお礼の挨拶の後、1時間30分にわたり研修しました。始めに理事長様より園の内容をパンフレットにそって説明していただきました。園の目的は、子どもたちに安心安全で、あたりまえの生活を提供すること。

何らかの事情により家庭で養育できない1才~18才の児童が入所しているとのこと。児童は、地元の幼稚園、小・中学校へ通っていて地元の行事にも進んで参加しているそうです。私たちは、普段何気なく生活していますが、親に養育されないで施設で生活し

ている子どもたちのことを思うと心が痛みました。子どもは、親の愛情をたくさん受けて心身共にすこやかに成長されなければならないと思われ知らされました。説明を受けた後、園内を案内していただきました。園内は、とてもきれいに整頓されていました。案内してくれた職員が、親に養育されなくなった子どもたちにとって、このような施設は、最後の砦です。と話してくださったことに目頭があつくなりました。園の子どもたち全員の幸せを願いつつ次の研修地の大子にと向かいました。



## 母子会に入会して

潮来市母子寡婦福祉会

貝 沼 綾

約十年前、潮来市母子寡婦福祉会に加入させていただきました。正直何もわからず入会し、時と共にこの会の活動やありがたさがわかり、親子共々大変お世話

になり今に至ります。寡婦さんや先輩母子のお話や皆全てが同じではないけど、分かり合えることなど、少しでも共有できることがあったりする事が本当に私は励みになります。寡婦の皆さんも自分の子の成長を、たまに会う行事の時などに気にかけてくれたり嬉しい限りです。

今はコロナ禍でお出掛けできませんが、ディズニースターや未来科学館や工芸体験等…クリスマス会等で手作り色々作りました。私一人ではとてもじゃなく連

れて行けない所や体験も、この会に加入していたからできたことです。今は計画をみんなで立てたりできる、その様な機会を与えていただき感謝です。

昨年は、母子家庭等自立促進対策事業の「介護職員初任者研修」の講習を受けさせていただきました。元々医療関係で働いていますし、両親の将来の事を考え介護に関して勉強したいと思っていましたので、この勉強・資格取得はとてとてもためになりました。約4ヶ月、仕事をしながら毎週日曜日の講習、休みなく働いていましたが、その講習の受講者ほとんどが皆わかり合える人達でしたし、皆の頑張りが励みとなりました。またこの様な機会があれば、どんどんチャレンジしたいと思います。受講料もテキスト代のみでひとり親で

も安心してしっかり資格取得させていただきました。

今私は子供が中学生になり段々と手もかからなくなってきましたので、これからは新しく入会してくれる人達にこういう事もあるんですよ等と伝えていったり、子育てについて話をしたりアドバイスできたら良いと思っております。気軽に集まれたり意見や要望を言えたりする会になる様、自分のできる範囲で少しでも協力する様心掛けたいと思います。



## 神栖市活動報告

神栖市母子寡婦福祉会

会長 野村 貴美子

神栖市母子寡婦福祉会が発足して8月1日で丸17年になります。令和3年度から、市の助成金を受けず自動販売機の事業収入で会の運営を行っています。

コロナ禍になり、この2年間思うような活動ができなくなり、どうなるのか、会自体が衰退していくのではないかと心配でした。役員会を開き、最低限できる事をやっとうと皆で協力、まず総会は屋外で行うことにしました。神栖中央公園に集まり、簡単ではありますが、役員総動員で会員さんに資料の説明等何か

意見がないかお話ししました。

皆さん、早くコロナ終息してお出かけしたいと訴えていました。今は辛抱して終息したらディズニーでも行きましょねと伝え、困ったら連絡してくださいと短い時間でしただけど無事終わりました。クリスマス会も「お家でケーキ作り」と題し、材料等を配布して親子で楽しい時間を過ごすことができたと思います。

いちご狩りも中止にし、その代わりバラ詰めいちごを配布しました。今年度はどうなるかわかりませんが少しでも皆で活動できる事を楽しみにしています。



## 令和3年度 母子部長等会議 開催報告

母子部副部長 篠木 美佳

2月13日(日)ラーク・ハイツ会議室にて「令和3年度茨城県母子寡婦福祉連合会母子部長等会議」が開催され、県内9団体10名が出席しました。

コロナ禍の下、思うように行事ができない中で会員同士のコミュニケーションをいかにとるか、新規会員の獲得に向けていかにお得感や活動の利点をアピールできるか等、どの団体も苦勞している様子が伺えました。また、他市町村母子会とフードバンク利用時の当番制のとり方や、自治体の支援の在り方の違いを比べることで、改善点が見えてくる場合があり大変参考になりました。

この会議の良いところは、県内様々な地域で暮らしている、現役子育て真っ最中の方からお子さんが成人して子育てを卒業された方まで多様なライフステージにある会員さんたちの意見を聞くことができる点です。たくさんの方のお話を聞きたいので、難しく考えずに、より多くの方々に気軽に参加していただきたいと思います。

今回は、部長の大崎さんが欠席されたので、急遽議長を務めることとなり至らない点もありましたが、皆様のサポートのおかげもあり、新役員への引継ぎも無事に終了いたしました。県の母子部を盛上げるためにもさらなる会員の皆さんの協力・連携が必要です。これからもよろしくお願ひいたします。

## お知らせ広場

## 親子すこやか宿泊研修

日 程：令和4年10月8日(土)～10月9日(日)  
 場 所：水戸市少年自然の家(水戸市全隈町)  
 対 象 者：母子家庭の母と子ども  
 子の年齢：年長児から中学2年生まで  
 ※全日程参加できる方

募集人数：50名程度

参加費：1世帯500円

申込期限：9月2日(金)必着

その他：現地集合・現地解散

問合せ先：社会福祉法人

茨城県母子寡婦福祉連合会

☎029-221-7505



## 日常生活支援事業の利用について

ひとり親家庭の母、父、寡婦の方が病気で体調が悪いつき、残業や出張、学校の行事に参加する時など、一時的に生活援助または子育て支援が利用できます。

利用するにはお住まいの市町村役場の福祉担当窓口で「ひとり親家庭等生活支援員派遣等対象家庭名簿登録申請」の手続きが必要です。

児童扶養手当の現況届と一緒に申請しておくとう便利です。突発的な状況に備えて手続きしておきましょう。(申請する時は印鑑とマイナンバーがわかるものをお持ちください。)

・詳しいことは母子・父子福祉センター(029-221-8497)までお問合せください。

## ひとり親家庭の母・父のためのパソコン講習会

ワード、エクセル、パワーポイント、その他(メールソフト)

日 時：9月11日(日)、10月2日(日)、10月16日(日)、10月30日(日)

場 所：茨城県母子寡婦福祉連合会 大会議室

定 員：15名程度(応募者多数の場合は抽選)

託 児：2歳以上小学生まで(事前登録が必要)

対 象 者：ひとり親家庭の母、父または寡婦で全日参加でき、PCで文字入力ができる方

自己負担額：1,000円(テキスト代)

応募締切：8月18日(木)必着

問合せ先：母子・父子福祉センター

ひとり親家庭等自立支援センター

☎029-221-8497



## 編集後記

- ◇「母子草って知ってる？」名刺を見た彼女が、突然聞いてきた。「会報の名前だよ！」と答えると、「違うよ、植物の名前！」「え、え、え……」
- ◇私が、母子草という言葉と出会ったのは、これが初めてで、名刺に絵が描いてあるのもその時に気がついた。情けない話である。
- ◇こんな事務局長ですが、4月に就任してから怒涛のような日々。理事会・会長会議の洗礼を受けて、境会長を始め各市町村の会長の長年の苦労とこれからの希望も聞かせていただきました。母子草発行や事業の実施に、一生懸命取組みたいと思います。(小林)

## 母子会加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。

あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

## お問合わせ

(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会

TEL029-221-7505

